

未来へつなぐ

# 環境にやさしい農業の取組が

その一環で進められてきた  
**環境保全型農業直接支払制度**が  
大きな効果をあげている

私たちが住む地球では、人間の活動により、  
地球温暖化が進み生物多様性が失われつつあります。  
こうした環境問題に対応するため、農業生産の現場では、  
**地球温暖化の防止**や  
**生物多様性の保全**などに役立つ  
いろいろな取組が行われています。



## 地球温暖化防止効果が確認されました

例えば、有機農業をすること。たい肥を使って土づくりをすること。  
こういった取組により、大気中へのCO<sub>2</sub>（温室効果ガス）の排出量を  
年間約15万トンも削減できることがわかりました。

約**15万トン**/年の  
CO<sub>2</sub>を削減

= 約**40万台**の  
エアコンが排出するCO<sub>2</sub>に相当

※家庭用エアコン（冷房能力2.2kW）の年間消費電力（冷房期間3.6か月及び暖房期間5.5か月）における各機種の平均値(707kWh)と電力の排出係数0.496からCO<sub>2</sub>排出量を算出し、台数に換算。  
出所：「省エネ性能力タログ（家庭用）2017年冬版」（経済産業省資源エネルギー庁）  
〔電気事業者別排出係数－平成29年度実績－〕（環境省・経済産業省）

## 生物多様性が高くなっています

農地は周りの山や川、水路とつながり、さまざまな生きものの  
すみかになっています。環境にやさしい農業を行っているところでは、  
カエルやクモ、トンボなどが  
多く生んでいることが調査の結果でわかりました。  
生きものの数や種類の豊富さは、  
ゆたかな生態系が保たれていることを示しています。

